

待ちに待った 相馬刈敷田郵便局開局

8月11日、尾浜字細田地区内で相馬刈敷田郵便局開局式が行われ、関係者約40人が出席しました。

市は、中村中部と中村東部地区の住民3千人余りの署名を集めた要望書の提出



を受け、日本郵便株式会社東北支社などへの要望活動を行った結果、津波で全壊した原釜郵便局の代替えとして刈敷田郵便局の新築開局に至りました。

古屋正昭日本郵便株式会社東北支社社長は「地域の皆さんの安全安心の拠点復興の一助となり、地域の皆さんに愛される郵便局にしてほしい」とあいさつ。古屋日本郵便株式会社東北支社社長ら9人がテープカットを行って営業が開始された相馬刈敷田郵便局に、開局を心待ちにしていた多くの市民が訪れていました。

青空の下で熱戦 ビーチバレー大会

県内の高校生を対象としたビーチバレーボール代替大会



は7月19日、尾浜ビーチバレーボール場で開催され、男女合わせて71チーム142人が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で第75回国民体育大会がごしま国体バレーボール競技などが中止になったことに伴う代替大会として開催され、県バレーボール協会、県ビーチバレーボール連盟が主催。

試合は男女ともトーナメント形式で行われ、選手らは青空の下、熱戦を繰り広げました。

市内宿泊業に対する補助を要望

7月20日、草野清貴市観光協会会長ら3人が市役所を訪れ、立谷市長に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う自粛の影響を受ける、宿泊業に対する補助の実施に関する要望書を手渡しました。

要望は、市観光協会、市松川浦観光旅館組合、市ホテル旅館組合の連名で市独自支援を求めるもの。

要望書を受け取った立谷市長は「要望を重く受け止め、

市観光協会など

独自施策として準備していきたい」と述べました。



交通事故防止街頭啓発を実施



交通事故防止を呼びかける街頭啓発は7月21日、ショッピングタウンベガイオン相馬店で行われ、関係者約15人が参加しました。

街頭啓発は、相馬地区交通安全協会、相馬警察署、市交通対策協議会による夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環として行われました。

参加者らは、買い物に訪れた方一人一人にチラシや夜光反射材などが入った交通安全グッズ150セットを配りながら、交通事故防止を呼びかけました。

冷たい水で熱中症対策 市内小・中学校



7月21日、相馬双葉漁業協同組合から市に提供された水

の配布が市内小・中学校で一斉に開始されました。

新型コロナウイルス感染症による休校の影響で、7月21日～8月7日の期間も学校生活が続ける子どもたちの熱中症対策を目的とするもの。

当日は、立谷寛治同漁協代表理事組合長が中村第一小学校を訪れ、午來勝頭同小学校校長に水を手渡しました。

立谷組合長は「この水で冷やした水を飲んで、暑い期間も元気に過ごしてほしい」とあいさつし、午來校長は「熱

中症対策と新型コロナウイルス感染症の対策を両立させながら、子どもたちの体調管理に気を配りたい」と述べました。

同校では、水とペットボトル入り飲料水を入れた保冷用たるを学年ごとに1個ずつ廊下に設置。

給食の後に、担任教諭がペットボトル入り飲料水を取り出して、子どもたちの水筒などに水を補充し、子どもたちはよく冷えた水を飲みながら授業を受けていました。

海の事故ゼロを呼びかけ 一日相馬港長



7月27日、海の事故ゼロキャンペーンの一環として、原釜尾浜海水浴場などで一日相馬港長らによる啓発活動が行われました。

啓発活動に先立ち、委嘱式が行われ、一日相馬港長に菊地美幸さん（写真中央）、一日福島海上保安部長に阿部早也香さん（写真右）、一日巡視船船長に石橋由望さん（写真左）が委嘱されました。

菊地一日相馬港長は、「船やマリンレジャーの事故防止の呼びかけなど、海の事故ゼロを目指し相馬港の安全確保に努めましょう」とあいさつしました。

啓発活動は海水浴場から開始し、阿部一日福島海上保安部長が「飲酒後の遊泳は事故につながります。飲酒後は遊泳しないように気を付けましょう」と監視塔から海水浴客へアナウンスしました。

心豊かな社会づくり 車椅子の寄贈

車椅子の寄贈は7月29日、市役所で行われ、坂井道夫「小さな親切」運動福島県本部代表代理（東邦銀行常務取締役）、安齋睦男社会福祉法人福島県社会福祉協議会副会長が訪れました。

「小さな親切」運動福島県本部からの寄贈は、明るく住みよい郷土の建設に寄与することを目的に行われ、毎年社会福祉協議会を通じて、県内の福祉施設などに車椅子が贈呈されています。

寄贈された車椅子は、スポーツアリーナそうま第二体育館で使用されています。



大雨で被害を受けた 山形県尾花沢市へ 支援物資を輸送



7月30日、山形県尾花沢市に支援物資を輸送するため、市防災備蓄倉庫から職員2人が出発しました。

市は、7月28日の東北地方を中心に甚大な被害を及ぼした大雨で河川が氾濫したことなどにより、現地で大規模な被害や断水が発生していることから支援物資の輸送を決定。30日に1リットルペットボトル入り飲料水約4千本を輸送したほか、31日にも10トントラックで飲料水を追加輸送しました。

収納率の向上に貢献 感謝状贈呈

相双地方振興局長感謝状贈呈式は8月8日、市役所で行われ、鈴木博市納税貯蓄組合連合会副会長が出席しました。式で、宇佐見明良相双地方振興局長から鈴木副会長に感謝状が手渡され、鈴木副会長は「初心の気持ちを忘れずに、組合員みなでがんばったことが認められてありがたいです」と述べました。

式に立ち会った立谷市長は「納税貯蓄組合は、地域コミュニティや見守り社会を担っている。市としても大変ありがたい」と鈴木副会長を讃えました。



夏の防犯パトロール 市西部地区防犯協会



夏の防犯パトロール出発式は8月3日、市民会館駐車場で行われ、関係者20人が出席しました。

式で、立谷市長は「地域として犯罪に立ち向かう姿勢を示し、安心して暮らせる街づくりに協力をお願いします」と述べました。

協会の会員らは3班に分かれて、田町通りや駅前などへ防犯パトロールに出発し、相馬警察署署員とともに店舗などを巡回。

店主などに防犯啓発グッズを手渡し、「空き巣被害が発生しているので気を付けてください。しっかり鍵かけをお願いします」など、犯罪への注意を呼びかけました。

相馬民謡の後継者を育成 子ども民謡教室 開校

市内の小・中学生を対象とした子ども民謡教室の開校式が8月7日、市民会館多目的ホールで開催され、13人の児童・生徒が参加しました。

教室は、相馬民謡の継承を目的に、相馬民謡同好会の協力を得て開かれる教室で、市教育委員会の主催。

教室は、毎月第1、第3金

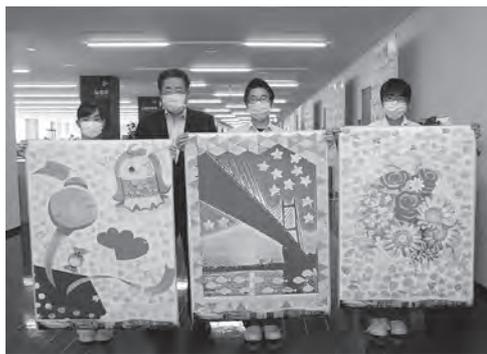
医療従事者などへの応援ポスターを贈呈

中一中学生徒会

針生均志同副会長が訪れました。

同生徒会は、新型コロナウイルス感染症に最前線に対応する医療従事者や地域でお世話になっている方のために中学生としてどんなことができののかを考え、全生徒にアイデアを募集し、手作りのポスターを制作。

当日は、佐藤生徒会長が「このポスターで医療従事者の皆さんに日ごろの感謝と私たちからのエールが伝われば嬉しいです」と述べ、立谷市長にポスターを贈呈しました。



中村第一中学校生徒会によるポスター贈呈は8月7日、市役所で行われ、佐藤晃太生徒会長、佐藤菜々香同副会長、

曜日に関われ、各地で開催される民謡大会を目標に、生徒たちは練習に励みます。



ホワイトボードを寄贈 市防犯協会飯豊支部



市防犯協会飯豊支部によるホワイトボードの寄贈は8月4日、飯豊小学校で行われ、寺島眞一同支部長、建藤洋悦同支部副支部長、猪狩浩孝同支部副支部長、渡部英同支部事務局長の4人が訪れました。同支部は、児童の防犯意識の向上を目的に4台のホワイトボードを寄贈。

寄贈を受けた永峯秀桐同校長は、「ホワイトボードに防犯に関する情報を掲示し、子どもたちの防犯意識の向上に努めます」と感謝の言葉を述べました。